

◆ 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。
- ・相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。
- ・経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。
- ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。

◆ 評価の方法

学習態度 発表 音読 プリント ノート テスト 作品

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ のはらのシーソー・詩 ○ 教えてあげる、たからもの ○ たんぼぼ ○ 雨の日のおさんぼ ○ ニャーゴ <p>【書写】文字の中心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「おもちゃまつりへようこそ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、はっきりした発音・発声で音読する。 ・自分の宝物について、その特徴を整理してスピーチや文章で紹介する。 ・説明されていることをまとめや順序に気をつけて読み取り、読み取ったことをもとに表現活動を行う。 ・場面の様子を想像しながら読み、人物の気持ちをとらえる。 ・登場人物の様子や気持ちを想像し、作品のおもしろさを味わうとともに、読んだ本を手紙やはがきで紹介する。 ・文字の中心に気をつけながら書く。 ・おもちゃの作り方や遊び方についてまとめ、順序に気をつけて分かりやすく説明する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前を見てちょうだい ○ ビーバーの大工事 ○ わたしの見学ノート ○ せかいのかくれんぼ ○ かさこじぞう <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きせつの思い出ブック」を作ろう <p>【書写】画のつき方・画の交わり方・画の間かく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の言動を中心に、出来事の順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読む。 ・調べたことをもとにクイズを作り、交流し合う。 ・順序を考えながら文と文の付き方に気をつけて書く。 ・遊び方の順序に気をつけて読み取り、話し合いの仕方を学ぶ。 ・場面の様子や人物の気持ち、人柄を想像しながら読むとともに、いろいろな昔話を読み、読書会を開いて紹介する。 ・2年生で学習した色々な書き方を生かして季節の思い出を文章に書く。 ・画の接し方や交わり方を理解し、正しく書く。 ・文字の間隔を考えながら書く。

2学年 算数科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。
- ・算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。
- ・整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

◆ 評価の方法

学習態度 発表 プリント ドリル ノート テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひょうとグラフ ○ 1000までの数 ○ たし算のひっさん ○ ひき算のひっさん ○ いろいろな形 ○ とけい ○ たし算とひき算(1) ○ 長さ(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な事柄を表やグラフに表す。 ・1000までの数の仕組みや数の大小、順序について知り、それを書き表す。 ・2桁の数までのたし算を、筆算で計算する方法を知る。 ・2桁の数までのひき算を、筆算で計算する方法を知る。 ・いろいろな形を作ったり分解したりしながら、形の特徴を考える。 ・時刻をよむ。 ・たし算やひき算の意味を確かめ、いろいろな問題を解く。 ・長さの単位を知り、簡単な測定や計算をする。
後 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ かけ算(1) ○ かけ算(2) ○ かけ算(3) ○ かけ算(4) ○ 長さ(2) ○ 1000より大きい数 ○ 三角形と四角形 ○ たし算とひき算(2) ○ 2年のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の意味を知り、それを式で表す。 ・2～5の段まで唱えたり、それを使って問題を解いたりする。 ・1の段や6～9の段まで唱えたり、それを使って問題を解いたりする。 ・かけ算の決まりを知る。 ・長さの単位を知り、簡単な測定や計算をする。 ・10000までの数の仕組みや数の大小、順序について知り、それを書き表す。 ・三角形や四角形について知り、それらをかいたり作ったりする。 ・たし算とひき算の関係を知り、それを使っていろいろな問題を解く。 ・2年生で学習したことを思い出し、復習する。

◆ 教科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

◆ 評価の観点

- ・身近な人、社会、自然及び自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。
- ・調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。
- ・具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子を気付いている。

◆ 評価の方法

活動の様子 観察や探検のカード 発表 感想

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともだちいっぱい なかよくしようね ○ ぐんぐんのびろ ○ レッツゴー！町たんけん ○ あそび大すきあつまれ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級の喜びや期待感を持って2年生の抱負を発表したり、新1年生の立場にたって、1年生にかかわる。 ・自分が1年間学んできた学校の様子を1年生に分かるように伝える。 ・ミニトマトの苗を植え、水やりの世話や観察をする。 ・自分たちが住む地域を探検し、自分たちが生活している地域の様子に関心をもったりその良さを発見したりする。 ・自分たちが住んでいる町で見つけたおすすめを紹介する。 ・自分なりに工夫したおもちゃを作って遊ぶ。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっとしりたいな 町のこと ○ ぐんぐんのびろ ○ らくえんさい ○ こんなすてきな 町なんだ ○ みんな大きくなったよね 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を探検し、地域の人や自然、公共施設により深くかかわったり、秋を感じたりする。 ・春から育ててきたサツマイモを友達と喜びを分かち合いながら収穫する。 ・楽園祭に参加し、地域の人との触れ合いを楽しむ。 ・他の季節の自然や暮らしと比べながら、自分たちの冬の生活を楽しく工夫したり、今までかかわってきた自分たちの地域についてまとめたりする。 ・いろいろな視点から自分の成長を実感し、自分を支えてくれた人たちに対する感謝の気持ちや自信を持って生活していこうとする意欲をもつ。

2学年 図画工作科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創作活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

◆ 評価の観点

- ・表したいこと、作りたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。
- ・感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。
- ・かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。
- ・かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして、楽しく見る。

◆ 評価の方法

制作中の様子 準備物 用具の使い方 作品を見ての発表

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ いっぱい ゆめいっぱい ○ わっ！すごいな ○ これいいかんじ ○ おはなしロボット ○ どんどんできるよ ○ かたおし かたぬき ○ きょうかしよ びじゅつかん 	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなことがあったらいいなど思ったことを、形や色を工夫して絵に表す。 ・驚いたこと、ドキドキしたときのことを思い浮かべ、形や色を工夫して絵に表す。 ・身の周りにある材料の特徴を生かして、自分の思いを表した作品をつくる。 ・いろいろな箱や容器を集め、積んだり、並べたりしてロボットをつくる。 ・切った紙をつないで道をつくり、思いをふくらませて、町をつくる。 ・型押しや型抜きでできた形を組み合わせて、作品をつくる。 ・集めてきた「たからもの」を箱の中に工夫して並べる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひかりのおくりもの ○ どんどんそだて ○ ざいりょうのへんしん ○ 見て、見て、おはなし ○ おしゃれなどうぶつ ○ うつしてうつして ○ ピョコピョコ ストローマジック 	<ul style="list-style-type: none"> ・色セロハンなどを用いて、光の効果を生かした作品をつくる。 ・自分たちが植えて世話をしてきたサツマイモやその収穫の喜びを思いを力強く自由に表す。 ・いろいろな材料を集めて、材料の形や色、大きさなどの特徴を生かした作品をつくる。 ・物語やお話をもとにイメージをふくらませて、絵に表す。 ・粘土のいろいろな技法を工夫して、動物の形をつくる。 ・紙版画の基本的な制作手順を理解し、構成を工夫して、自分のイメージを版画で表す。 ・動く仕組みを生かして、楽しくなるような作品を工夫してつくる。



2学年 体育科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・だれとでも仲よく、健康・安全に留意して、進んで楽しく運動をしようとする。
- ・基本の運動やゲームの仕方を考え、工夫している。
- ・基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けている。

◆ 評価の方法

活動の様子 実技の発表 学習カード 準備・片付け

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ ゆうぐ・てつぼうあそび(5)	・自分がしてみたい遊具遊びや鉄棒あそびを決めて運動する。
	○ ボールはこびおに (6)	・ルールを守って鬼ごっこをしたりルールを工夫したりして運動を楽しむ。
	○ ゆうえんちへいこう (4)	・遊園地にあるいろいろな乗り物になって動いたり踊ったりする。
	○ スポーツテスト (4)	・スポーツテストのやり方を理解して、意欲的に取り組む。
	○ 水あそび (6)	・自分の力にあった目当てを決めて、いろいろな水遊びを楽しむ。
	○ とびばこ・マットへいきんだいあそび (6)	・いろいろな跳び箱・マット・平均台遊びを楽しみ、新しい運動遊びに挑戦する。
	○ シュートゲーム (8)	・ボールを投げたり取ったりする練習をしたり、ルールを守ってゲームを楽しんだりする。
後期	○ 虫の国へいこう (4)	・いろいろな虫になって踊ったり、友達の動きの良い所を見つけたりする。
	○ ダンス (6)	・音楽のリズムに合わせて楽しく体を動かす。
	○ かけっこ・リレーあそび(7)	・チームで目当てを決めているいろいろなリレーをする。
	○ とびっこあそび (4)	・いろいろなとびっこ遊びをする中で体の動きを工夫する。
	○ とびばこ・マットへいきんだいあそび (9)	・いろいろな跳び箱・マット・平均台遊びを楽しみ、新しい運動遊びに挑戦する。
	○ なわとびあそび (5)	・いろいろな跳び方に挑戦したり、調子よくリズムに乗って跳んだりする。
	○ わ・ぼうあそび (6)	・力にあった輪・棒遊びを楽しむ。
○ サッカーゲーム (10)	・ルールを守っているいろいろなサッカーゲームを楽しむ。	

平成20年度

2学年 道徳 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

一人一人の人格を尊重し、互いを思いやる心や認め合い支え合う態度を育てる。

- ・命を大切にする子ども
- ・根気強く最後までがんばりぬく子ども
- ・仲良く助け合い励まし合う子ども

2年重点目標

- ・友達と仲良くし助け合う

◆ 評価の観点・方法

(1)道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守りよりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きを持つものです。授業中の児童の発言、生活の様子、日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。

(2)道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て、いつも動的、発展的に評価します。

